

矢代東村 やしろ 敬人。明治二十二年三月十一日千葉県誕生、昭和十七年九月十二日歿（八八—九三）。本名龜廣。前號都會詩人、矢代秋水。明治四十二年青山師範學校卒。小學校教員の傍ら日本大學專門部法科に學んで辯護士資格を得、大正十一年開業。この間白百合に入り前田文喜の師事。十二年歌誌『白光』同人。昭和二年新撰歌人聯盟、翌年プロレタリア歌人同盟に加盟。八年『短歌評論』創刊同人、十七年檢察拘留。

著書『發生—白百合歌集・第一集』（都會詩人名、合著・前田文喜編、大正四年二月）『五百白百合社』、『玫瑰の花・第二』（合著、昭和六年三月）『白玫瑰會編刊』、『歌集—隅より』（昭和六年十二月）『白百合社「詩歌叢書」』、『正岡子規研究』（合著・渡邊順、二、昭和八年十一月）『白樂浪書院』、『啄木短歌評釋』（渡邊順、二、昭和十年十一月）『九日ナウカ社』再版、十二年二月十日泰山房）、年刊歌集『新短歌・一九二七年』（合著・新短歌クラブ編、昭和十一年十二月十日第一書房）、『啄木の歌と鑑賞』（渡邊順、二、著、昭和十二年二月二十日新撰出版社）、歌集『早春』（昭和十二年十二月）『新撰出版社』等。

渡邊順、二、  
藤田太郎編、  
神畑勇

昭和十年十一月九日ナウカ社。再版、十二年二月十日泰山房）、年刊歌集『新短歌・一九二七年』（合著・新短歌クラブ編、昭和十一年十二月十日第一書房）、『啄木の歌と鑑賞』（渡邊順、二、著、昭和十二年二月二十日新撰出版社）、歌集『早春』（昭和十二年十二月）『新撰出版社』等。

